



京都大学×JICA 共催「SDGs の達成に向けた SATREPS・草の根技術協力事業の合同報告会」
～ おもしろい研究、そして草の根の人々とともに作る社会実装とは ～

世界の開発目標として SDGs が提唱され、科学技術分野においても、科学技術による変革やイノベーションを通じて社会の開発に寄与することが一層求められています。日本政府は、科学技術と ODA を連携させるプログラムとして「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS：サトレップス）」を創設し、JICA は JST とともに制度運営にあたっています。京都大学はこの SATREPS を利用して、各種の研究協力を実施しています。

また、途上国の草の根の住民レベルでの生活改善・生計向上を目指す JICA の「草の根技術協力事業（パートナー型）」を利用して、京都大学では今までの各国での研究成果を活かした「社会実装」を目指したプロジェクトをいくつも実施しています。

この度、SDGs への貢献に向けて、京都大学と JICA 関西が共同して、SDGs に関心を持たれる一般のみなさま及び京都大学の研究者・学生を対象に「SDGs の達成に向けた SATREPS・草の根技術協力事業の合同報告会」を開催します。

途上国のフィールドにおける「おもしろい」研究、そして草の根レベルでの人々の生活の改善のため、研究者がどのように奮闘しているかを紹介します。

開催時期： 2018 年 11 月 12 日（月）午後 1 時～午後 4 時
 開催場所： 京都大学吉田キャンパス 百周年時計台記念館 2 階国際交流ホールⅢ
 共催： 京都大学（学術研究支援室）、JICA 関西
 後援： 関西 SDGs プラットフォーム
 応募・問合せ先： 京都大学学術研究支援室
 （担当：杉本、吉岡 E-mail:sdgs@kura.kyoto-u.ac.jp Tel:075-753-5164,5739）
 登録フォーム：<https://goo.gl/e5diVK>



京都大学
キャンパス
マップ
KYOTO UNIVERSITY
CAMPUS MAP



【報告会の次第】

12:45 開場

13:00 開会あいさつ

- ・ 京都大学学術研究支援室(KURA) 佐治 英郎室長
- ・ JICA 関西 西野恭子所長

13:10 各案件の研究者から事業の報告

(15 分発表+5 分質疑応答 x 6 案件 = 120 分)



	時間	案件名 (案件名をクリックすると概要 URL に 飛びます)	実施国	1. 研究代表者 / プロジェクトマネージャー (PM) 2. 発表者
1	13:10 ~13:30	<u>バングラデシュ国における高潮・洪水 被害の防止軽減技術の研究開発</u>	バングラ デシュ	1. 中川一教授 2. 川池健司准教授 (防災研究所)
2	13:30 ~13:50	<u>低品位炭とバイオマスのタイ国におけ るクリーンで効率的な利用法を目指し た溶剤改質法の開発</u>	タイ	1,2.とも 三浦孝一 教授 (エネルギー理工学研究所)
3	13:50 ~14:10	<u>火山噴出物の放出に伴う災害の軽減に 関する総合的研究</u>	インドネ シア	1. 井口正人教授 2. 藤田正治教授 (防災研究所)
—	14:10 ~14:30	休憩	—	—
4	14:30 ~14:50	<u>“フィールドミュージアム”構想による アマゾンの生物多様性保全</u>	ブラジル	1,2.とも 幸島司郎 教授 (野生動物研究センター)
5	14:50 ~15:10	<u>タンナ島における在来建設技術の高度 化支援</u>	バヌアツ	1. 西嶋一欽准教授(PM) (防災研究所) 2. 吉岡佐知子(KURA)
6	15:10 ~15:30	<u>泥炭火災適応策としての再湿地化と在 来種植林による泥炭生態系の回復と住 民の生計向上</u>	インドネ シア	1. 甲山治准教授 2. 水野啓研究員 (東南アジア地域研究研究所)

15:30~15:45 閉会あいさつ

- ・ JICA 関西 田和正裕次長
- ・ 京都大学学術研究支援室(KURA) 関二郎副室長
(以後、16 時ころまで一般参加者も含めた自由歓談)

